

# 令和6年度病害虫発生予察注意報 第1号

令和6年5月10日

千葉県農林総合研究センター長

## 果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ）越冬後成虫多発生のおそれ

### 1 注意報の内容

- (1) 対象作物：果樹全般（特にビワ、ナシ、カンキツ）
- (2) 発生地域：県内全域
- (3) 発生量：多

### 2 注意報発令の根拠

- (1) 令和5年9月にチャバネアオカメムシ早期発生予測モデルを用いて、本年4～7月までの南房総地域におけるチャバネアオカメムシの発生量を予測した結果、多発生と予想された（令和5年度病害虫発生予報第6号「Ⅱその他の情報」を参照）。
- (2) 気象庁の3か月予報（4月23日発表）によると、5～7月の気温は平年より高くなると予想されている。
- (3) 県内10地点に設置しているチャバネアオカメムシ集合フェロモントラップの4月の1日当たり誘殺数は4.4頭（平年値0.6頭）で、過去10年間と比較して最も多かった（図1）。
- (4) 館山市に設置している予察灯では、4月における果樹カメムシ類の1か月当たりの誘殺数は30頭（平年値3.4頭）で、過去10年間と比較して最も多かった（図2）。

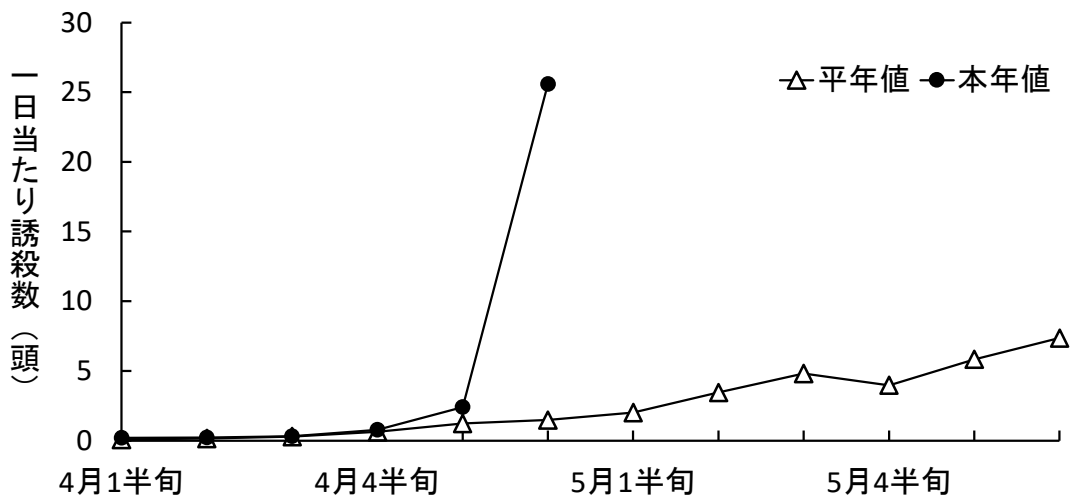


図1 県内10地点におけるチャバネアオカメムシの集合フェロモントラップ誘殺数の推移

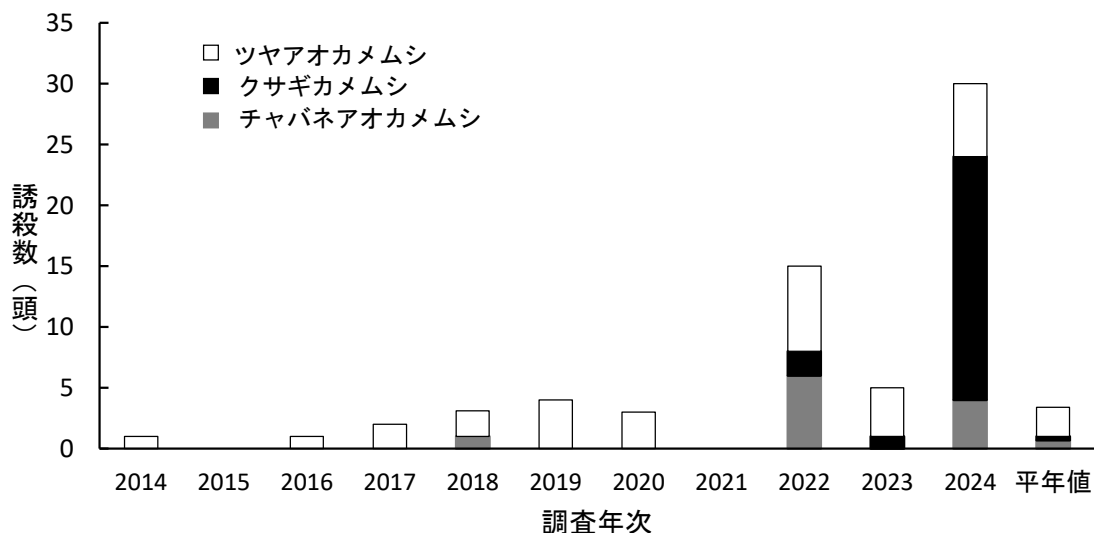


図2 予察灯における果樹カメムシ類の1か月当たりの誘殺数(館山市:4月)

### 3 防除上の注意事項

- (1) 果樹カメムシ類は、各種樹木の果実等を移動しながら吸汁しており、果樹園への飛来状況は地域や園により異なるので、園内をこまめに見回り、飛来を確認したら早急に薬剤防除を行う。
- (2) 薬剤を散布する場合は、農薬使用基準に定められた使用時期(収穫前日数)に注意する。夕方から夜間に飛来する個体が多いので、散布は夕方に行うと効果的である。
- (3) ビワでは果実が小さいうちは果実袋で加害を防止できるが、果実が肥大すると袋と果実が接触して被害を受けやすくなる。  
5月下旬頃から収穫期に入るため、薬剤防除を行う際は使用時期(収穫前日数)をよく確認する。
- (4) ナシでは多目的防災網(9mmクロス目合い)や防虫ネット(4mm目合い)で園全体を覆う。



チャバネアオカメムシ



ツヤアオカメムシ



クサギカメムシ

写真 果樹カメムシ類

表 各作物でカメムシ類に登録がある主な防除薬剤（令和6年5月1日現在）

| 作物名  | IRACコード※1 | 薬剤名                  | 希釈倍数        | 使用時期/使用回数※2  |
|------|-----------|----------------------|-------------|--|
| ビワ   | 3 A       | テルスター水和剤             | 1,000~2,000 | 収穫前日まで/2回以内  |
|      |           | テルスターフロアブル           | 3,000       |  |
|      |           | ロディー水和剤              | 2,000       | 収穫前日まで/4回以内  |
|      | 4 A       | アドマイヤーフロアブル          | 2,000       | 収穫7日前まで<br>(但し、露地栽培については<br>発芽期から開花期を除く)<br>/2回以内  |
| ナシ   | 3 A       | マブリック水和剤 20          | 2,000       | 収穫30日前まで/2回以内                                      |
|      |           | ロディー水和剤              | 1,000       | 収穫前日まで/2回以内  |
|      | 4 A       | モスピラン顆粒水溶剤           | 2,000~4,000 | 収穫前日まで/3回以内  |
|      |           | スタークル/<br>アルバリン顆粒水溶剤 | 2,000       |  |
| カンキツ | 3 A       | テルスター水和剤             | 1,000~2,000 | 収穫前日まで/3回以内  |
|      | 4 A       | アドマイヤーフロアブル          | 2,000~5,000 | 収穫14日前まで<br>(但し、露地栽培については<br>発芽期から開花期を除く)<br>/3回以内 |
|      |           | モスピラン顆粒水溶剤           | 2,000~4,000 | 収穫14日前まで/3回以内                                      |
|      |           | スタークル/<br>アルバリン顆粒水溶剤 | 2,000       | 収穫前日まで/3回以内  |

※1 IRAC（殺虫剤抵抗性対策委員会）コード：殺虫剤の作用機構の分類を表すものである。

3 A：ピレスロイド系

4 A：ネオニコチノイド系

※2 薬剤名が異なっても同じ成分を含む薬剤があるので、散布前に確認し、同じ成分がある場合、合計使用回数が制限を超えないように注意する。

注 農薬の使用に当たっては、最新の農薬登録内容を確認し、製品ラベルに記載された使用基準等を守り適正に使用する。

・病害虫発生予察情報はインターネットでもご覧いただけます。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/lab-nourin/nourin/boujo/>

・薬剤の選定については、最新の農薬登録情報を確認してください。

<https://pesticide.maff.go.jp/>

問合せ先

千葉県農林総合研究センター病害虫防除課

〒266-0014 千葉市緑区大金沢町180番地1

TEL 043(291)6077 FAX 043(226)9107

E-mail [cafrc-bojo@mz.pref.chiba.lg.jp](mailto:cafrc-bojo@mz.pref.chiba.lg.jp)

